

第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画（案）に対する意見公募の結果

1. 概要

- (1) 募集期間 令和3年3月10日（水）～令和3年3月23日（火）
 (2) 意見提出者 1名（意見総数4件）

2. いただいたご意見への対応状況

分類	対応状況	意見数
賛同	計画案全体に対して同趣旨及び賛同いただいたもの	0件
参考	今後の施策や事業実施にあたり参考とさせていただくもの	3件
修正	ご意見の趣旨を参考に計画案を修正したもの	1件
	合 計	4件

3. 提出された意見内容及びそれに対する市の考え方

○ご意見について一部要約等を行っている場合があります。

No	いただいたご意見	分類	ご意見に対する市の考え方
1	<p>■P4 (2)地域別人口の推移 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・S30を基準年としたグラフを掲載していますが、そこまで大昔を基準にしなければいけないのでしょうか。 ・地方圏からの人口流出がいったん収束したといわれる昭和50年より以前の数値を使ってしまわないのでしょうか。例えば、朝日・温海は3割まで減った【S30→H27】というのと、朝日・温海は8割まで減った【H17→H27】というのでは、受け止め方が変わってくると思います。 ・S30を基準にする理由を説明できるならばいいのですが、そうでないならば、将来人口を何年先まで推計しているかに合わせて、H27から同年数分さかのぼって示すなどしないと、スパンの取り方が意図的なものに映ってしまうと思います。 	修正	<p>地域課題の背景にある状況を説明するものとして、本市の人口のピークである昭和30年と比較した地域別人口割合の推移を用いて、計画策定を進めたところでもあります。</p> <p>ご意見いただきましたように、比較対象年によって受け止め方が変わる可能性もあると考えられますので、多様な観点から分析が可能となるよう、市町村合併が行われた平成17年との比較を図中に追記いたします。</p>
2	<p>■P6 (4)人口ピラミッド について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コミュニティ推進計画」では、「コミュニティ基本計画」を推進するための取組みを定めるものとして、地域ごとの取組みを示されていますが、そうであるならば、人口ピラミッドについても「地域別の人口ピラミッド」を示すことで、各地域課題の背景にある状況が伝わりやすくなるのではないのでしょうか。 	参考	<p>この計画では、住民自治組織に係る地域毎の課題と取組について、地域の特性や事情を踏まえ、地域づくりを推進していくように設定しています。</p> <p>「地域別の人口ピラミッドを示すことで課題の背景が伝わりやすくなるのではないか」というご意見でしたが、P6に示した全市における人口ピラミッドと各地域における人口ピラミッドはつぼ型で、同じような傾向を示していることから、全市における人口ピラミッドのみを掲載しています。</p> <p>なお、ご意見につきましては、地域コミュニティの維持・活性化を進める上で欠かせない視点であることから、引き続き注視してまいります。</p>

3	<p>■P57 市施策①住民主体による地域課題解決を多面的に支援 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つ目の取組で、「地域ビジョンの策定を通して」と書いてありますが、町内会・自治会の会長などが交代してしまうと、最初からやり直すことになったり、作るには作ったけどで終わってしまうことが多いと思います。 ・住民が自分事として関わっていくためには、やはり「ビジョン作成」に関わることが重要で、だからこそ実際の取組みも自分事として関わられるのだと思います（その時参加できなかった人にとっては他人事のまま）。 ・市の施策として住民主体の活動を支援していくのであれば、市による支援は「ビジョン策定の支援」にとどめず、「定期的なビジョン見直しを促す（次の代にパトタッチさせる）仕掛け」をセットで示したほうが、より実効性のあるものになると感じました。イメージとしては、5年周期ぐらいでの見直しを促した方がよいのではないかと感じています。 	参考	<p>地域ビジョン策定のプロセスを経ることで、我が事としての地域づくりが進められ、主体的に課題を解決する力の向上とリーダーや中核的グループの育成が図られる効果を期待しております。</p> <p>また、地域ビジョン策定後は計画内容の実行・評価・検証を繰り返し行いながら地域づくりを進めていくこととなりますが、ご意見を参考に、本計画期間の5年を目途に地域ビジョンの見直しについても声掛けしてまいりたいと考えております。</p>
4	<p>■P58 市施策③広域コミュニティ機能の強化 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P2-7で人口減少の話題を取り上げているように、人口が少ないところほど、広域コミュニティ組織で担っていかなければならないことが増えていると思います。そのような事情も加味し、人口の少ない広域コミュニティほど手厚い支援が必要なのではないでしょうか（何もやらないところに手厚くする必要はありませんが）。 ・コミセンという地域活動拠点に求められる役割が大きくなっていると思います。そうであるならば、地域資源を生かした物販など、自前の財源を増やしていく、自分達で挑戦してみる取組みも求められてくると思うのですが、そのような活動は支援してもらえるのでしょうか（具体的には、コミセンでの物販）。何でもかんでも物販を認めてほしいというのではなく、市が策定を促している「地域ビジョン」に記載された取組に関する物販のことです。 	参考	<p>この計画では、住民自治組織に係る地域毎の課題と取組について、地域の特性や事情を踏まえ、地域づくりを推進していくように設定しています。</p> <p>今後益々住民主体の積極的な地域づくりが進められることを期待しておりますが、市としても、ご意見を参考に、地域の実情に沿った支援ができるように検討してまいります。</p>